

2024 年度 台湾研修 報告書

医療科学部 放射線技術学科 2 回生 氏 名 川本望央

台湾研修概要

日程：8/25～8/31

訪問先：元培医事技術大学、國泰医院、映像医学博物館、台安病院、中正紀念堂、ラオハ夜市、九份、台北 101

研修内容：現地の方から学ぶ中国語授業、病院見学、現地の人と親しくなること、台湾の文化に触れること

本研修に参加した目的と目標

台湾研修への参加動機は、異なる文化や環境に触れることで自己成長を促し、新しい視野や価値観を身につけることです。研修を通じて、現地の人と話すことで語学力やコミュニケーション能力を向上させ、積極的に行動できるようになりたいです。また、異文化間の理解や協力の重要性を学びたいです。

学内研修で学んだこと

台湾人の方から直接中国語の講座を受けることができ、大変貴重な経験となりました。大学での中国語の授業は主に教科書の音読に重点が置かれていましたが、研修での授業では多様な発音方法や、参加者全員の前での自己紹介など、非常に楽しく充実した内容でした。また、日本人一人に対して台湾のボランティアの方が一人付いてくださり、徹底した発音指導を受けることができたため、理解が深まりました。そして、台湾のボランティアの方から「ありがとう」「どういたしまして」「おはよう」「おやすみ」といった簡単な中国語も教えていただき、それを積極的に使って挨拶を交わしたり相槌を返すことで、自然と距離が縮めることができたように感じました。

学外研修で学んだこと

台湾の病院と日本の病院は似ており、特に日本製の医療機器が使われていることに感動しました。日本の医療技術が海外でも通用していることに興味し、国を超えた医療のつながりを実感しました。また、健康診断を受けるにあたり、簡単かつ順番に回れるよう番号がふってある部屋が円形に設計されていることに驚きました。

観光&交流

台湾の色々な観光地を巡り、台湾のボランティアの方々に夜市での美味しい屋台料理や、文化や歴史について詳しく説明していただき、現地の文化や歴史を間近で触れることができて楽しかったです。

台湾の飲食物は全体的に甘く、緑茶は日本のフルーツティー並みに甘いのが印象的でした。特にフルーツは非常に甘くて美味しく、台湾の甘い食文化に感動しました。

お別れ会では、チームごとにポスターを作成し、ダンスを踊るなど楽しい思い出ができました。台湾のボランティアの方全員と手紙を交換したり、お気に入りの写真などについて話すことで多様性を尊重し、国境を越えた協力の価値観を再認識しました。

まとめ

研修を通じて、私は言語だけに頼らず、非言語コミュニケーションを意識することが重要だと実感しました。私は初めての環境で不安を感じていたが、台湾の方々が積極的に声をかけてくださり出発前の不安も払拭

されました。そして言葉が通じなくても強い絆を築くことができました。特に印象的だったのは、研修初日から行ったしフリータイムのスポーツです。ジェスチャーや顔の表情などを使い、言葉は通じなくとも共に楽しむことができ、話すこと以外の方法でも心が通じ合うことを体感しました。今後、文化や言語が異なる人々と関わる際には、相手の表情や態度を読み取り、より良い関係性を築きたいです。

謝辞

台湾での研修を通じて、多くの親切な方々に出逢えたこと心から感謝申し上げます。皆様のおかげで素晴らしい経験をすることができました。特に、スポーツを通じての交流はとても楽しく、言葉が通じなくとも一緒に楽しむことができ、私にとって大きな喜びでした。台湾のボランティアの方々が積極的に話しかけてくださったおかげで、仲良くなることができ、心温まる友情を感じました。文化の違いを越えて、皆様との絆が深まったことは、私の心に永遠に残る大切な思い出です。心より感謝し、これからもこの経験を大切にしていきます。ありがとうございました。



夜市で一番人気のかき氷



台湾で実際に使われていた日本の医療機器



フリータイムのスポーツ



チームごとに作成したポスター